

（様式１）実施報告書

１ 応募者情報

（１）応募者団体情報

団体名	北海道
-----	-----

（２）都道府県・政令指定都市からの指定の有無及び連携（応募者が地域国際化協会及び地域国際化協会に準ずる法人または団体の場合のみ記載）

①都道府県・政令指定都市からの指定の有無

（応募者が地域国際化協会及び地域国際化協会に準ずる法人または団体の場合のみ記載）

○指定の有無 有・無

○指定の内容

②都道府県・政令指定都市との具体的な連携

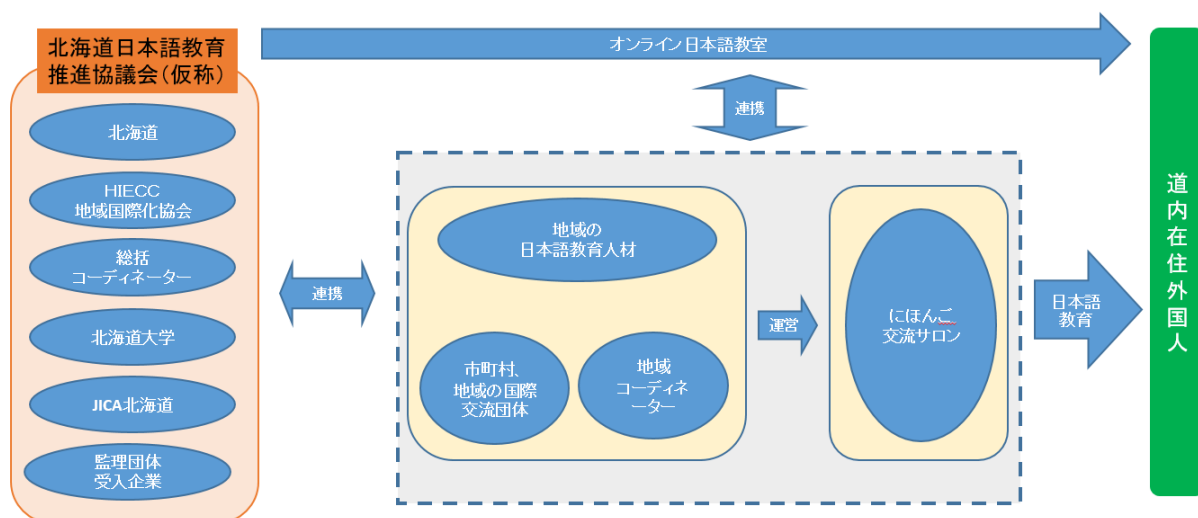
（応募者が地域国際化協会及び地域国際化協会に準ずる法人または団体の場合のみ記載）

２ 事業の概要

（１）全体概要

①事業の名称	北海道における日本語教育推進事業
②目的等	
1 目的 道内に在住する外国人が居住地や環境に関わらず、必要に応じて生活のために必要な日本語を学ぶことができる環境づくりを推進するため、道内市町村及び関係機関（大学、日本語教育機関、地域国際化協会、民間団体等）と連携しつつ、「地域の日本語教育人材の育成」「日本語教室がない地域での日本語教室開設に向けたモデル事業」に取り組むほか、「市町村への意識啓発」などに取り組み、北海道における日本語教育の実施体制の構築を図る。	
2 本事業を通じて構築を目指す体制の全体像 【現在の状況：図示も可】 ・道としては現在、日本語教育に取り組んでおらず、市町村や在住外国人へのアンケートによりニーズや現状を把握するに留まっている。 ・一部の市町村では、文化庁の空白地域解消推進事業等を活用し、地域の国際交流団体とともに、市町村内に在住する外国人に対して、日本語教室等を開催し支援を行っている。	

【構築を目指す体制：図示も可（上記に構築する体制を追記）】

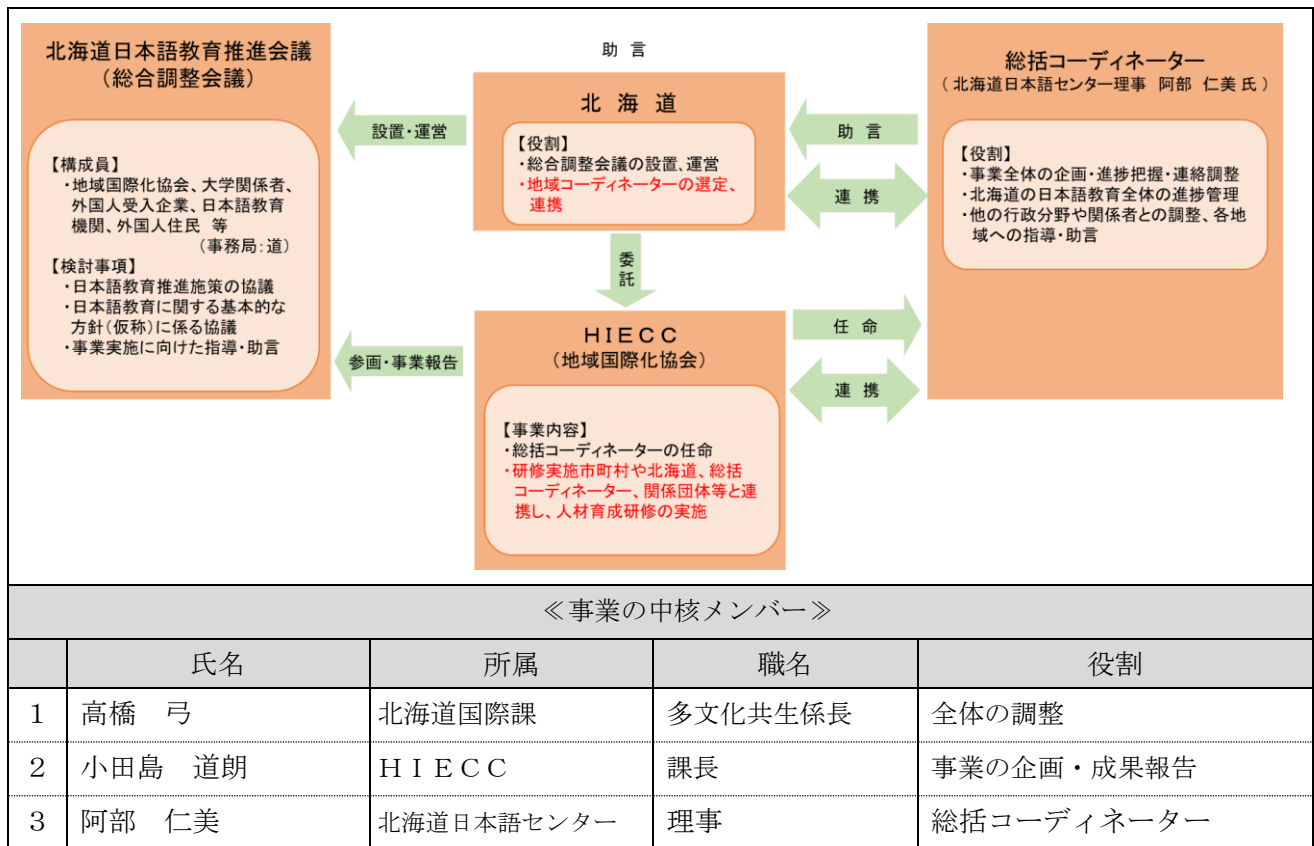


（２）令和５年度事業の概要

①事業の期間	令和５年７月１日～令和６年３月３１日（９カ月間）
②前年度までの年次計画における進捗状況（新規応募団体は記載不要）	
③前年度までの成果と課題（新規応募団体は記載不要）	
④令和５年度の目標	令和５年度については、地域が主体となって日本語教育に取り組む体制を整備するため、地域の日本語教育人材の発掘・育成を重点的に実施する。 ・地域での日本語教育人材の発掘及び人材育成研修の実施（３地域×３回実施、各地域最低１人発掘） →研修受講者は、翌年度、日本語教育モデル事業として、地域での試行的な日本語教室の実施・運営に参画することを目標に以下の取組を実施する。
⑤令和５年度の主な取組内容	① 総合調整会議の設置・開催（２回） ＜道直営事業＞ 本事業が効果的に推進されるよう、関係団体等（大学、日本語教育機関、民間団体等）に委員を委嘱し、総合調整会議を開催。 ② 総括コーディネーターの配置 ＜委託事業＞ ③ 地域日本語教育コーディネーターの配置 ＜道直営事業＞ ④ 日本語教育人材育成研修の実施（３地域×２～３回） ＜委託事業＞ 道内３地域で人材育成研修を実施し、地域で継続的に日本語教育に取り組む人材を発掘・育成する。

3 事業の実施体制

(1) 実施体制(図表等を活用して、総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーター、調査計画推進コーディネーターを含めて記載してください。)



(2) 域内の市区町村、関連団体等との連携・協力体制

- ・HIECC (地域国際化協会)、北海道内雄武町・栗山町・増毛町と連携して日本語教育人材育成研修を実施した。

4 令和5年度の実施内容

(1) 実施内容

1. 広域での総合的な体制づくり				
【必須項目】				
(取組①) 総合調整会議の設置				
①構成員				
	氏名	所属	職名	役割
1	小林 靖幸	北海道国際局	国際企画担当局長	全体の調整
2	長谷川 浩幸	HIECC	専務理事	道内国際交流団体とのネットワークの活用
3	二通 信子	(一社)北海道日本語センター	代表理事	道内外国人の日本語教育の状況・特長の共有
4	平田 未季	北海道大学	准教授	道・市町村と連携した取組の提案
5	式部 絢子	秩父別町 北海道大学	多文化交流コーディネーター 非常勤講師	道内の多文化共生の現状から助言
6	阿部 裕之	JICA 北海道	所長	外国人との共生に向けた助言やオンライン日本語教育の知見の共有
7	水田 充彦	キャリアバンク(株)	執行役員 部長	監理団体の視点から見た日本語教育
8	五十嵐 啓子	HISAE 日本語学校 北海道多文化共生NET	校長 代表理事	日本語学校との連携
9	トシ・ヌー・ジエム・トウ	ベトナム人協会	会長	外国人の視点から見た日本語教育
10	大井 裕子	(一社)北海道日本語センター 日本語ボランティア「窓」	理事 監事	日本語教室の意見・助言
②実施結果				
実施回数	2回			
実施スケジュール	第1回：令和5年8月8日 第2回：令和6年2月9日			
主な検討項目	第1回：北海道における日本語教育に関する課題と対応策について 第2回：事業推進状況について、基本的な方針の素案について			

（取組②－１）総括コーディネーターの配置
・地域日本語教育スタートアッププログラムのアドバイザーも務めている一般社団法人北海道日本語センターの阿部仁美氏を採用した。 ・研修実施地域・道・委託業者との連絡調整のほか、日本語教育人材育成研修等の講師を務めた。
（取組②－２）地域日本語教育コーディネーターの配置に向けた取組
地域日本語教育コーディネーターの配置【(○)】 地域日本語教育コーディネーターの候補者育成支援【()】 ・今年度は総括コーディネーターが地域日本語教育コーディネーターを兼務することとした。
（取組②－３）調査・推進計画策定コーディネーターの配置
取組なし
【重点項目】
（取組③）日本語教育に関する基本的な方針に必要な地域の実態調査、基本的な方針の作成
北海道の実情に応じた「北海道地域日本語教育の推進に関する基本的な方針（仮称）」を令和６年度に策定するため、有識者の意見を聞くとともに市町村へ意見照会を実施した。 【スケジュール】 ～２月 基本的な方針の素案を検討 ２月 第２回総合調整会議に諮る ３月～ 市町村へ意見照会
（取組④）都道府県等の域内における日本語教育の実施に関する連携のための取組
人材育成研修実施地域の職員や日本語教室関係者を対象とする意見交換会を開催し、地域の現状・課題の共有や翌年度に向けた検討を行った。 ・地域の現状・課題の共有 ・翌年度に向けた検討
（取組⑤）市区町村への意識啓発のための取組

・道内市町村の日本語教育における意識の醸成を目的に以下の取組を実施した。 ○日本語教育人材育成研修（発掘・育成）　＜委託事業＞ ・振興局管内又は圏域単位で、最低１名の日本語教育人材の配置を目指し、令和５年度は３地域（雄武町、栗山町、増毛町）で日本語教育人材育成研修として「日本語学習支援者養成講座」を実施した。（１地域２～３回） ・さらに、栗山町では、「日本語学習支援者養成講座」受講者を対象に、日本語学習支援の活動を進めるために必要なことを具体的かつ実践的に学ぶための「にほんご学習支援者のためのブラッシュアップ講座」を３回実施した。 ・また、増毛町では、町内在住の外国人の日本語教室のニーズを確認したいとの要望があったため、総括コーディネーター含む講師による、気軽に楽しく日本語を勉強できる日本語教室（プレ教室）を開催した。（１回２時間）			
（取組⑥）日本語教育人材に対する研修			
取組なし			
（取組⑦）地域日本語教育の実施　取組なし 実施するものに○　　【　】都道府県・政令指定都市が主催する地域日本語教育 　　　　　　　　　　　【　】日本語教育実施機関団体等への地域日本語教育			
実施箇所見込数	○か所	受講者数 (実人数)	○人
活動１	【名称】 【目標】 【実施回数】 【受講者数】 【実施場所】 【受講者募集方法】 【内容】 【開始した月】 【講師】 【関係機関との連携】 「日本語教育の参照枠」や、標準的なカリキュラム案等の活用の有無：		

(取組⑧～⑮) その他の取組
(取組⑪) 日本語教育に関する広報活動 <道直営・委託事業> ・道内の日本語教育機関をまとめた「北海道にほんご学習MAP」を作成し、市町村、国際交流団体、大学、領事館等への配付やHPへの掲載など、道内在住外国人に対し日本語教育に関する効果的な広報活動を実施した。 (取組⑭) 成果の普及 <道直営・委託事業> ・事業報告書を作成し、道内179市町村に対し、広く成果の発信・普及を行った。
2. 市区町村の日本語教育の取組への支援
(取組①) 市区町村を支援して実施する日本語教育
取組なし
(取組②) 取組1以外の日本語教育を行う団体を支援して実施する日本語教育
取組なし

5 主要な取組の実施状況

令和5年4月	
5月	
6月	
7月	
8月	・総括コーディネーターの配置 ・総合調整会議（第1回） ・日本語教育人材育成研修（1・2回目、雄武町）
9月	・日本語教育人材育成研修（3回目、雄武町） ・モデル教室（増毛町）
10月	・日本語教育人材育成研修（1～3回目、栗山町）
11月	
12月	
令和6年1月	・日本語教育人材育成研修（1回目、増毛町）
2月	・日本語教育人材育成研修（1回目、増毛町） ・総合調整会議（第2回） ・日本語学習支援者ブラッシュアップ講座（1～3回目、栗山町） ・「北海道にほんご学習MAP」作成
3月	・意見交換会 ・事業終了、実績報告書の提出

6 評価と検証

1. 令和5年度の計画の評価と検証方法
【令和5年度の目標】（再掲） 令和5年度については、地域が主体となって日本語教育に取り組む体制を整備するため、地域の日本語教育人材の発掘・育成及び日本人住民の意識醸成を重点的に実施する。 ・地域での日本語教育人材の発掘及び人材育成研修の実施（3地域×3回実施、各地域最低1人発掘） →研修受講者は、翌年度、日本語教育モデル事業として地域での試行的な日本語教室の実施・運営に参画
【令和5年度の目標達成に向けた指標（定量評価・定性評価を含む。）】 【指標1：定量評価目標】 地域の日本語教育人材発掘・育成人数（対象市町村数3） ※R6実施のモデル事業実施希望者の人数 ○目標値 3名以上（前年 ） ○実績値 27名 【指標2：定性評価目標】 本事業参加者の満足度 ○目標値 満足度 80%（前年 ） ○実績値 92% 【検証方法】 ○指標1については、日本語教育人材育成研修終了後の聞き取り等により翌年度のモデル事業参加希望者を道及び地域国際化協会が把握。 ○指標2については、各事業参加者へのアンケート調査により把握。 （アンケート項目「有意義な内容だった」「役立つ知識を学ぶことができた」で「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合で算出。） 【その他】
2. その他、令和5年度事業の評価と検証方法
該当なし

7 検証を踏まえた課題と今後の展望

1. 検証を踏まえた課題と今後の展望
(1) 検証を踏まえた課題 地域の日本語教育人材発掘・育成人数及び本事業参加者の満足度はいずれも目標値を大きく上回る結果となったもの、道内の日本語教室空白地域は依然多い状況。 (2) 今後の展望 ・今年度人材育成研修を実施した3地域のうち2地域で日本語教室が設置、1地域で多文化共生に係る予算が確保されるなど、当該事業の効果はあったことから、来年度も引き続き日本語教育人材育成研修に取り組んでいく。 ・地域日本語教育コーディネーターは総括コーディネーターが兼務しているが、今後、日本語教育人材育成研修等により地域日本語教育コーディネーターに適した人材を発掘したい。 さらに、研修実施市町村の近隣地域と連携した日本語教室の運営、オンラインの活用を検討したい。
2. その他、課題と困難な状況への対応方法等
(1) 課題と困難な状況への対応方法 ・日本語教育人材育成研修実施に当たっての近隣地域への協力依頼 ※栗山町が近隣地域への広報等を希望 →隣町である由仁町に道・地域国際化協会（HIECC）、総括コーディネーターが訪問し、研修の周知や外国人を雇っている企業の情報提供を依頼。また、道が直接由仁町内の企業を訪問し、当該事業の説明と研修への協力を依頼した。 ・道内在住外国人に対する日本語教育に関する効果的な情報発信 →北海道内の日本語教室の情報をまとめた「北海道にほんご学習MAP」を作成し、道内市町村や国際交流協会等に配付するとともにHPに掲載。

【参考写真一覧】

取組番号	写真名
1-⑤	日本語教育人材育成研修
	
1-⑦	モデル教室
	

13 川崎市 川崎駅 Kawasaki City

14 たかかわはんひろびろ 
Takakawa Nihongo Hirobira

15 緑葉市会 緑葉町 Nishiohara Town

16 日本船舶協会 
Nihongo Bunkaiyokai

17 日本語教室 
Nihongo Kyoushitsu

18 うれなちほうす 日本語教室 
Ureshina House

19 SDCP「はじめてのほにんくす」
Japanese Classes for Beginners

20 エスコ「日本語サロン」
5-NICO Japanese Salon

21 おしべりカフェテリア ～やさしい日本語の会～
Oshiberi Cafe L.L.L. Yashaii Nihongo no Kai

22 「さくらんぼ」日本語ボランティア
「SAKURANBO」Nihongo Volunteer

23 札幌日本語クラブ(SNC)
Sapporo Nihongo Club

24 J.WORKS 
J-WORKS

25 にほんごかい とも 
Nihongo Kai "SORA"

26 日本ボランティア「マド」
Nihongo Volunteer "MADO"

27 H.I.W.日本語教室「MANA」
H.I.W. Japanese Class "MANA"

28 国際関係センターにほんご教室
Kansai International Center Japanese Class

29 国語庁 3.5か国語 Enwa City

30 日本語ひろば「えなわ」
Nihongohirowaba Enwa

31 小樽市 小樽駅 Otaru City

32 日本語教室 
Japanese Class

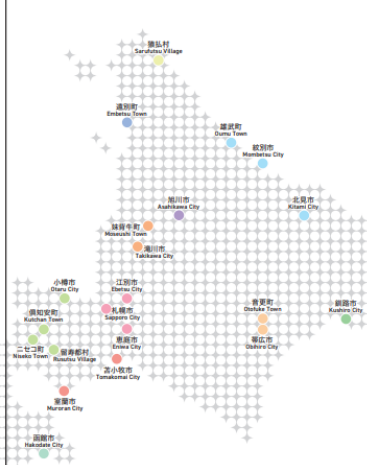
33 留萌町 留萌駅 Rumoi Village

34 日本語教室 
Japanese Class

35 知知堂 知知町 Chichidango
Chichidango Town

36 高知安こころま日本語教室 
Takohi Ankokoroma Japanese Classroom

倶利伽羅町 くちがらちょう Kuchigara Town	📍
📌 くちまにほんごサロンにちやん Japanese language salon "Nico-chan"	📍
📌 SMILE Niseko Language school	📍
ニセコ町 にせこちょう Niseko Town	📍
📌 Beginner Japanese Part1, Part2	📍
洞小牧市 とうこまきし Tomakomagi City	📍
📌 ほんご交流のまち 小牧市国際交流サロン Japanese Language Center	📍
室蘭市 むろらんし Muroran City	📍
📌 いもり外国人フレンドシップ日本語教室 (Iori Gakushu (Foreigners) Friendship Japanese Lesson)	📍

[illegible]

取組番号	資料名	NEWS 掲載
1-⑤	日本語教育等による多文化共生推進事業 実績報告書	
1-⑥		
1-⑦		
1-⑧		
1-⑪	北海道にほんご学習MAP	○